

医動物・種類同定検査結果(平成29年10月～平成30年3月)

医動物担当では、人の健康を害し、人に不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。

その中の一つとして、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。昆虫類の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かるため、効果的な対策を立てることにつながります。

平成29年10月から平成30年3月の種類同定検査件数は、3件でした。内訳は昆虫以外の節足動物2件(クモ目)、不明1件でした。

主な検査結果の詳細は以下のとおりです。

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
船艇内でクモを 発見した。	 成虫、灰褐色、10mm	イエオニグモ (クモ目)	人家、物置、軒下、人家付近の樹木間など夜間照明のある場所に円網を張る。
シーツの上で虫 を捕獲した。	 幼虫、褐色、1.5mm	クモ目の一種 (クモ目)	クモ目は肉食性で種々の節足動物などを食べる。海岸から高山地帯まで広く分布する。生息場所は、建物内、地中、地表面、草間、樹間など多岐にわたる。
押入れの襖と服 に糞のような ものが付いて いた。	 黒褐色、3.5mm	不明	外観、内容物を精査した結果、同定には至らなかった。

【 微生物検査研究課 医動物担当 】